★ナースになりたい人、復職希望ナースへ

ナース★ワゴンプラス

勤医協中央病院看護部の取り組みを伝えるミニ情報紙

2017年 11月15日 No.56

発行
勤医協中央病院看護部
〒007-8505
札幌市東区東苗穂5条1丁目9番1号
TEL:011-782-9111(代表)
E-mail:s-kango@kin-ikyo-chuo.jp

勤医協中央病院　北海道DMAT　札幌市消防局・東消防署

3者合同 仮想災害訓練

大規模災害時のあらゆる事態を想定し訓練の幅を広げています





2017年10月21日（土）　10：00～11：30
勤医協中央病院
訓練総責任者：勤医協中央病院 防災委員会委員長 田村裕昭院長
参加者：職員106人、北海道DMAT12人、
札幌市消防局レスキュー隊1隊、
札幌市東消防署救急隊員3隊、ボランティア24人





勤医協中央病院では災害時における緊急時医療体制を充実・強化するために、毎年秋に災害訓練を実施しています。看護部からは34人が参加し、万が一の際の各部署の役割や関係機関との協働について確認しました。

DMAT（災害派遣医療チーム）と初の合同訓練

大規模な自然災害などが北海道内で発生した場合は、北海道知事が指定した34の病院を束ねている北海道DMATが司令塔となり医療チームを組織し被災地へ派遣します。

今回は、北海道DMATに所属するJA北海道厚生連網走厚生病院と東胆振の王子総合病院のチームも参加。医療活動や患者搬送を支援する合同訓練となりました。また、広域災害救急医療情報システムを使い、道との情報共有作業も試みました。


訓練用の特殊メイク


到着したDMATに現況報告

災害医療を身に付けるために欠かせない訓練

当院の田村裕昭院長は、「災害は忘れたころにやって来るという名言がありますが、昨今は忘れないうちにやって来るという状況があります。災害時・緊急時には、病院を挙げて地域の患者・住民を守るために行動できるよう、今後も訓練を続けたい」と改めて職員に呼びかけました。

訓練結果を踏まえて従来のマニュアルを見直し、本部機能や院内の調整、各関係機関との連携や協働の具現化を進めながら「災害に強い病院」を目指します。

訓練目的

❶大規模災害発生時における災害組織計画（災害対策本部マニュアル）の検証
❷DMAT・消防と共同による患者の受け入れ、トリアージの質向上と治療・搬送の訓練

訓練概要

東区を震源とする震度5の直下型地震が発生した翌日に震度7の余震が発生！　災害拠点病院が機能停止状態に陥ったことから、勤医協中央病院と北海道DMATが連携し被災者受け入れを行う。

訓練の様子は、ナースワゴン＋α No.56で紹介しています